

## 健康福祉部長マニフェスト

健康福祉部長 林 和彦  
(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 私の思い

第 4 次柏原市総合計画では、「地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている」を政策目標として掲げています。

健康福祉部では、上記目標を達成するため、必要な人に必要な福祉サービスを提供するとともに、日常の暮らしの中で、市民が互いに支え合い、助け合える環境を整え、高齢者、障害者など誰もが、身近な地域で不安なく自立して暮らしているまちを目指し、様々な事業を展開しております。

中でも今年度は特に以下の取り組みを重点課題に掲げ、施策目標の達成に努めて参ります。



(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 重点課題

- ① 母子保健事業の充実
- ② 高齢者の生きがいと社会参加の推進
- ③ 高齢者が安心できる暮らしの実現
- ④ 障害者就労支援
- ⑤ 生活困窮家庭への支援

## 母子保健事業の充実

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 遂行目標

- ◆妊産婦及び乳幼児とその保護者に対して保健指導、健康診査、訪問指導を実施し、具体的な対応策を指導することにより育児に対する知識の習得や不安の軽減を図るとともに、安心して子どもを産み育て、親と子が共に成長できるよう妊産婦や乳幼児の母子保健の充実を図ります。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトプット（活動指標）

- 昨年度までの受動的な取り組みではなく、妊娠届出書提出時に保健センターで保健師が全数面接を行い、妊婦が安心して出産・育児ができるように努めます。
- 全数面接  
保健師 8 人で年間約 500 人の妊婦と面接

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトカム（成果指標）

保健師妊婦に対する全数面接、いわゆる「ファーストコンタクト」を開始することで、妊婦の産前産後の不安の軽減を図ることができます。

## 高齢者の生きがいと社会参加の推進

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## 遂行目標

- ◆健康寿命の延伸を図るため、生きがいを持って社会参加できるような介護予防活動に取り組みます。高齢者が主体的に参加し、自らが担い手となり、居場所づくり、健康づくり、地域の助け合いの拠点となる地域サロン等を開設します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## アウトプット (活動指標)

- 地域サロン開設数 10か所から15か所に増設
- 地域サロン参加者数 H27 3,683人 → H28 4,000人
- 認知症カフェ 国分地区 月1回 → 月2回  
柏原地区 新規開設
- 認知症カフェ参加者数 H27 19人 → H28 40人

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

## アウトカム (成果指標)

地域サロンや認知症カフェへの参加者を増やすことにより、新たに介護予防や認知症予防に取り組む方を増やすことができます。

## 高齢者の安心できる暮らしの実現

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 遂行目標

- ◆高齢者の生活支援のため、一人暮らし高齢者の見守り活動や認知症高齢者に対する理解や支援、徘徊高齢者への対応等、高齢者が安心して暮らせるよう支援してまいります。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトプット（活動指標）

- 今年度、徘徊高齢者の見守り活動について、市内介護事業者「柏原市徘徊高齢者SOSネットワーク」に加え新たに市内コンビニエンスストアにも協力を求めています。

協力事業所 27か所から10か所増

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトカム（成果指標）

- 協力事業所が37か所に増えることで、早期発見の精度が上がり、認知症の高齢者の不慮の事故を未然に防止することができます。

## 障害者就労支援

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### 遂行目標

- ◆障害者が就労を通じて社会へ踏出す環境を整えることにより、障害の有無によって分け隔てられることなく、個人として尊重され、その尊厳にふさわしい暮らしが実現できる共生の地域社会づくりを目指します。

今年度については、就労支援コーディネーター、精神保健福祉士で構成する柏原市地域就労支援センターとの連携強化に加え、関係部署の就労支援員との連携を図り、短時間で就労に結び付けることが困難な事例についても支援を強化し、障害者からの就労相談の幅を広げることにより相談件数の増加に繋がります。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

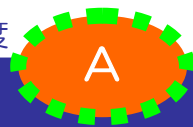
### アウトプット (活動指標)

- 障害者からの就労相談人数 目標値 29 人  
(平成 27 年 12 月末値である 24 人+5 人)
- 障害者の就労等人数 目標値 20 人  
(平成 27 年 12 月末目標値・13 人、実績値 17 人)

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

### アウトカム (成果指標)

就労専門機関である柏原市地域就労支援センター、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、市役所関係部署の連携を強化し、就労相談件数を増やすことで、障害者が就労する環境を整えることができます。



## 生活困窮家庭への支援

(作成日) 平成28年4月22日

### 遂行目標

- ◆生活困窮者のうち、要保護者に対しては生活保護制度を適用し、適正実施を行うとともに、生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対し、個々の実情を把握し、生活相談支援や就労支援等を実施することにより自立の促進を図ります。

(作成日) 平成28年4月22日

### アウトプット

- ジェネリック医薬品の普及率5%向上を目指し、医療扶助費の抑制を図ります。
  - 普及率(数量ベース) H27 52% → H28 57%
- 生活困窮世帯に対し、「こどもの学習支援事業」を実施します。
  - 学習支援対象児童 20人

(作成日) 平成28年4月22日

### アウトカム

- ジェネリック医薬品の普及・促進を図ることにより、医療扶助費の抑制を図ることができます。
- 生活困窮世帯の子どもに対し、学習支援を行うことにより、自立の促進を図ることができます。